

南医発第 211 号
平成30年 8月17日

関係各位

南部地区医師会
会長 安里 良盛
理事 湧上 民雄

平成30年度在宅医療介護連携推進事業
「入退院時における医療・介護連携」研修会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、近年、高齢者をはじめとした在宅医療・介護を取り巻く環境は大きく変化し、有料老人ホームなどの施設を含む居宅での療養生活を送る高齢者が増えていくことが見込まれます。高齢者が住み慣れた地域で安心して療養生活を続けるためには、医療・介護の関係者が連携し、本人・家族の望む生活の実現に向けて支援することが重要であり、その仕組みづくりが喫緊の地域課題となっています。

この度、「入退院時の医療・介護連携のあり方について～退院後の生活を支えるためのチームづくりを目指して～」をテーマに、講演と事例検討による多職種グループワークを下記のとおり開催いたします。

つきましては、時節柄ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、参加ご希望の方は、別紙にて9月7日(金)までに本会事務局宛 FAXにてお申込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

平成30年度在宅医療介護連携推進事業 「入退院時における医療・介護連携」研修会

テーマ： 「入退院時の医療・介護連携のあり方について
～退院後の生活を支えるためのチームづくりを目指して～」

主催： 与那原町、南城市、一般社団法人南部地区医師会

日時： 平成30年9月12日(水)18：30～20：00

場所： 南風原町「ちむぐる館」 （南風原町字宮平 697-10）

対象者： 与那原町、南風原町内の医療・介護関係者、地域包括支援センター、
その他関係者

参加費： 無料

内容

I. 講演

テーマ「入退院時の医療・介護連携について」

～入退院支援連携デザイン事業をとおして～

講師 一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

理事 望月祥子氏 （ハートライフ病院 医療福祉相談室）

II. 多職種グループワーク（事例検討）

事例検討をとおして、退院後の生活を支えるための医療・介護関係者の支援方法を検討し、チームづくりを目指す